

令和7年度使用教科用図書調査専門委員会 調査研究報告書 観点・着眼点（ 種目名 国語 ）

観 点		着 眼 点
1	学習指導要領との関連	社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにするための工夫・配慮の程度はどうか。
		社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養うための工夫・配慮の程度はどうか。
		言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、日本の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養うための工夫・配慮はどうか。
2	「コンパスぷらん（第4期名古屋市教育振興基本計画）」との関連	「自分に合ったペースや方法で学ぶ」ことができるような工夫・配慮の程度はどうか。
		「多様な人と学び合う」ための工夫・配慮の程度はどうか。
		「夢中で探究する」ための工夫・配慮の程度はどうか。
3 内 容	(1) 内容の選択	人権の尊重や教育の政治的中立に関する配慮の程度はどうか。
		自然や四季に関する題材や、生命を尊重し、他人を思いやるなどの道徳的心情を豊かにする題材等の選択についての適切さはどうか。
	(2) 内容の程度	他教科等や社会生活と関連付けられるような工夫や配慮の程度はどうか。また、補充的な学習や発展的な学習の内容の程度はどうか。
	(3) 内容の構成	情報の扱い方に関する題材や、日本の言語文化に関する題材等の取り上げ方の程度はどうか。また、語彙指導や言語活動の創意工夫、読書指導の充実を図ることへの配慮の程度はどうか。
4	タブレット端末の活用	タブレット端末を活用して学習の効果を高めるための工夫の程度はどうか。
5	表記・表現及び使用上の便宜等	学習のねらい、学習の手引・練習・まとめの提示についての工夫の程度はどうか。また、本文記述と挿絵・イラスト・写真・図表等の関連付けの適切さはどうか。
6	印刷・造本等	「ユニバーサルデザイン化の観点から印刷の鮮明度、文字の大きさ、書体、色彩等」、「造本の堅ろうさや体裁」、「再生紙の使用や環境に優しいインクの使用等環境への配慮」など印刷造本等の工夫の程度はどうか。

令和7年度使用教科用図書 調査専門委員会 調査研究報告書（種目名 国語）

観点	発行者	東京書籍	三省堂	教育出版	光村図書
		特徴	特徴	特徴	特徴
1 学習指導要領との関連		小・中・高等学校の系統性を意識しながら、目指す資質・能力の向上や定着が図られるよう、「言葉の力」で3年間を通じて段階的に身に付けられるような工夫がされている。 「日本語探検」「漢字道場」「広がる言葉」等で、日本語の特徴や文法、漢字を学び、日本語への興味・関心を高め、言語活動の充実を図っている。	巻頭の「領域別教材一覧」の「つきたい力」や、巻末の「読み方を学ぼう一覧」の「読み方」を活用して、段階的に学び方を身に付けられるような工夫がされている。 「語彙を豊かに」で、教材に関連した語句を示すことによって、言語感覚を豊かにし、言葉がもつ価値を認識できるような工夫がされている。	「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材末に「学びを生かす」という項目を設け、学んだことを他教科や実生活にどのように生かすことができるのかを示し、言葉の力を高められるような工夫がされている。 「言葉の小窓」等、実生活に必要な言語活動に関する単元を系統的に配置することで、言葉がもつ価値を認識できるような工夫がされている。	資料編「学びのカギ」一覧やデジタル資料「学びの地図」で、目指す資質・能力が明確に図解されているように、発達段階や系統性に配慮した内容になっている。 「語彙を豊かに」や「語彙ブック」、「書くこと」における「言の集ボケット」で、思考や表現を支える言葉を活用することで、様々な心情を表現できたり思考を促したりするような工夫がされている。
		「話すこと・聞くこと」「書くこと」の各教材の学習のポイントとして明示した「言葉の力」を、多様な言語活動の中で活用することができるような工夫がされている。	「話すこと・聞くこと」「書くこと」の各教材では、目標と学習の流れとともに学習に必要なポイントを明記して、協働的な学習が進められるような工夫がされている。	「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材では、「学習活動の流れ」を明記し、生徒の語例および文例を学習活動のポイントと対応させて、設定した「目標」に示した重点的な指導項目が身に付けられるような工夫がされている。	全領域に「学びのカギ」を設置し、領域を超えた学びのつながりを明確にしている。「読むこと」で習得した力を「話すこと・聞くこと」「書くこと」で活用することで理解が深まり、実生活に役立つ力を定着できるような工夫がされている。
		国語の学習で身に付けたいポイントが各教材の「言葉の力」に示されており、見通しをもって、主体的に学習に向かうことができるような工夫がされている。	「学びの道しるべ」や「読み方を学ぼう」に学習の目標と読み方の方略が明確に示されており、言葉で考える力をもって主体的に学習に向かうことができるような工夫がされている。	「学びナビ」で、教材を読み深めていくための視点を明確に示しており、見通しをもって、主体的に学ぶことができるような工夫がされている。	「学びへの扉」で、フローチャート式の学習の流れを示すことによって、見通しをもって、主体的に学ぶことができるような工夫がされている。
2 「コンパスぶん（第4期名古屋市教育局振興基本計画）」との関連		学習意欲を喚起する魅力的な教材を取り上げるとともに、「てびき」で学習の流れの見通しと振り返りの過程について、学習者の目線を明確に示して、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がされている。	学習意欲を喚起する魅力的な教材を取り上げ、共生社会の一員として求められる幅広い資質・能力を育成できるような工夫がされている。	「学びナビ」ページの下（目標の左）にある学びナビマップで学習の現在地を表示し既習事項や今後の学習と合わせて、自分の学びを確認することができるようになっている。	「学びへの扉」や「学びのカギ」で学習の流れやポイントを示している。多様な解釈を引き出す教材が選択され、幅広い知識と教養を身に付け、探究心を培うことができるような工夫がされている。
		現代的な諸課題について扱う教材を多く取り上げることで、多様性を理解し、未来について主体的に考えられるような工夫がされている。「言葉の力」で、グループディスカッションに向けての手順を具体的に示している。	様々な価値観が並立するグローバル社会や共生社会の一員として求められる資質・能力が育成できるような教材が多く取り上げられている。話題や展開に沿って話し合いをつなげるための「話し合いのこつ」や「メモを活用する」、「質問の仕方」など、相互理解を進めるための手立てを示し、話し合いに必要な力を身に付けることができるような工夫がされている。	未来の社会の担い手となる中学生が、多様な人々の存在を尊重する豊かな人間性を育むことができるような教材やイラストを取り上げている。「発言を結びつけて話し合う」で、他者の表現を受容して自らの表現力を高めることができるような話し合いの流れを示している。	「情報×SDGs」や「いつも本はそばに」では、社会の諸課題や他教科と関連のある教材を取り上げ、社会の担い手として必要な国語の力を育むことができるような工夫がされている。「情報を聞き取り」、要点を伝える「聞き上手になろう」「進め方について考えよう」と段階を踏んで「話題や展開を捉えて話し合う」で、話し合いを価値あるものにするためによりよい話し合いの仕方を学ぶことができるような工夫がされている。
		「資料編」や「広がる言葉」で補充的な学習を行い、学習のまとめとして設けられている「未来への扉」で、発展的な学習ができるような工夫がされている。	「資料編」に読みのことや言語に関する資料を豊富に掲載したり、「学びを広げる」を提示したりして、個に応じた学習を支えることができるような工夫がされている。	巻末にある「言葉の学習室」で補充的な学習を、「学びのチャレンジ」で発展的な学習に取り組むことができるような工夫がされている。	巻末の「資料編」では教材に関連した資料が領域別にまとめられ、「国語の力試し」で、身に付けた力を活用して学習することができるような工夫がされている。
3 内容	(1) 内容の選択	人権・国語・年齢・性別・障害の有無などの多様性や、多様な価値観を尊重する態度を養うことができるような教材が取り上げられている。	現代の課題に向かい合い、持続可能な社会の実現に向けて、対話や合意形成の方法や論理的な能力を育成することができるような教材が配慮されている。	国際理解や平和について、互いに尊重し合える心を育み、未来に展望や希望をもつことができるように、教材化が図られている。	正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力について理解する教材を設け、多様性を尊重し、公正な態度を育めるように配慮されている。
		各学年8か所にある扉に、四季折々の詩歌が写真とともに掲載されたり、豊かな情報や共感する心を養うことができるような教材が選択されたりしている。	俳句や短歌の教材によって四季について考えさせたり、現代の課題に向かい合いながら、人や社会について多角的に考え、豊かな心を育んだりすることができるような教材が配列されている。	「四季のたより」を設け、四季それぞれの和歌と俳句を取り上げ、我が国の言語文化を支えている季節感を感じることができるような教材が選択されている。	「季節のしおり」では、四季にまつわる詩歌や季語を取り上げたり、生徒を取り巻く環境や社会的な課題に合致した話題・題材を扱ったりすることで豊かな情操と道徳心を培うことができるように配慮されている。
	(2) 内容の程度	「未来への扉」では、実生活・実社会の課題と向き合う工夫がされていたり、他教科と関連付けられる教材を取り上げ、教科関連マークで具体的な教科が示されたりしている。1年の最初の教材では、小学校高学年と同じ大きさの書体で示し、1年前半の教材は小学校高学年の復習になるような配慮がされている。各学年末に設けられている「未来への扉」や、巻末付録のデジタルコンテンツ等により、補充的・発展的な学習への配慮がされている。	他教科と関連付けることができる教材を選択するとともに「観察・分析を通して評価する」等の実生活・実社会に関連付けられるような資料が取り上げられている。1年の最初の教材は1年生の心理に寄り添いつつ読解の基礎・基本を確認でき、中学校の学習に円滑に接続できるような配慮がされている。「資料編」に読み物や言語に関する資料を豊富に掲載したり、「学びを広げる」を提示したりと、思考力・判断力・表現等の力を高めたりできるような工夫がされている。	「SDGs教材」で、実社会の課題について自ら考え、表現する力を高めたり、他教科と関連付け、実生活で生かしたりすることができるような内容が選択されている。1年の入門期教材として、小学校の学習を展開できるように、国語学習を展望する教材が設けられている。巻末の「言葉の学習室」に、小教材や資料などを示したり、「学びのチャレンジ」で、思考力・判断力・表現等の力を高めたりできるような工夫がされている。	3学年共通で「情報×SDGs」を位置づけ、視野を広くもち、実生活や将来に生ずる情報活用の方法を学ぶことができる。1年1学期で、小学校から積み重ねてきた学習履歴を尊重しつつ、身に付けた力や基礎・基本を確認できる教材が領域別になっている。「資料編」では、教材に関連した資料が領域別にまとめられており、「国語の力試し」では、身に付けた力を活用した補充的・発展的な学習が示されている。
	(3) 内容の構成	「情報と倫理の学び」では他教科等の学習や実生活に関連した言語活動が例示されている。「日本語探検」では、語彙の理解がしやすくなるように工夫したり、「言葉の力」として、身に付けた力をどのように生かすかを言語活動と関連付けて示したりしている。 「読書案内」では、3年間で422冊のさまざまな種類・テーマの本が紹介され、生徒の読書力を高めたり、読書生活を豊かにしたりできるような工夫がされている。	実生活と結び付けて、「情報の扱い方」に特化した単元「情報を関連づける」が各学年で設けられている。日本の言語文化に対する題材を取り上げたり、「語彙を豊かに」で、言葉の魅力に気づき、確かな力が身に付くように工夫したりと、言語活動との関連が示されている。「小さな図書館」で図書の紹介をするなど、語彙・読書指導が充実するような工夫がされている。	「情報・メディアと表現」で、メディアの特色や扱いなどを取り上げ、自ら考えることができるような教材が提示されている。「文法の小窓」「言葉の小窓」で言語文化を取り上げたり「言葉・情報」として、具体的な表現の型を言語活動でも取り上げたりしている。「広がる本の世界」を設けて、教材に関連した図書を単元ごとに紹介することで、教材の理解を深め、読書の充実が図られるような工夫がされている。	3学年通して、SDGsを題材に情報活用能力を養い、「情報整理のレッスン」で身に付けた力が活用できるように系統的な配列がされている。「語彙を豊かに」や「語彙ブック」で豊富な語彙に触れることができ、言語生活の質を向上させる契機となるような教材を提示している。「学びへの扉」で言語活動が明示された「本の世界を広げよう」や「広がる読書」で、様々な種類・テーマの447冊が紹介されたりしている。
4 タブレット端末の活用		各教材の学習に役立つ映像やアニメーションなどの動画、解説、資料など、1年生で143、2年生で142、3年生で130のコンテンツが用意されており、学習意欲を高めるような仕掛けを工夫している。	解説動画、朗読音声、漢字や文法のデジタルドリル、補充教材として使える資料など、二次元コードの参照先サイトでは、500以上のコンテンツが用意されている。	教材内容に応じて「まなびリンク」を設けている。教育出版のウェブサイトで、学習時に参照できる資料や動画・画像資料など150のコンテンツが見られるようになっている。	3年間で350以上のコンテンツが収録されており、個々の目標や興味・関心に応じて自由に選択し、活用することができるようになっている。書き込みや自己採点が可能なデジタル教材も多数収録されている。
5 表紙・表現及び使用上の便宜等		各教材に設けた「言葉の力」の囲みに学習のポイントや流れが示されており、学びに向かう力を高めるような工夫がされている。豊富な挿絵や写真が内容理解の手助けとなっており、主体的に学ぼうとする姿勢を育てるような工夫がされている。	「読み方を学ぼう」では、思考力・判断力・表現力等を伸ばすための方法が図やイラスト等を用いて示されており、視覚的に内容を整理することができるようになっている。また、「学びの道しるべ」の課題と関連付けて示していることで、主体的に学ぼうとする姿勢を育てることができるような工夫がされている。	「学びナビ」で学習への見通しをもち、教材ごとの「振り返り」で確実に振り返りができるよう構成されており、学びに向かう力を高められるような工夫がされている。	「学びのカギ」「思考のレッスン」「情報整理のレッスン」では、関連ページを索引できるよう示すことにより、必要な情報を得やすいような工夫がされている。「学びへの扉」で言語活動を焦点化させて、主体的に学ぼうとする姿勢を育てるような工夫がされている。資料、図表、挿絵、写真等が理解を助けるものとして、効果的に用意されている。
6 印刷・造本等		小学校教科書で使用されている教科書体に筆遣いや字形を合わせた特別な明瞭体を使用し、読みやすいような工夫がされている。参考資料はデジタルコンテンツとして用意するなど、ページ数を削減するとともに、軽量化した用紙を使用している。3年間の連続性を感じさせる表紙になっている。	識別しにくい配色は避けつつ、色の濃淡や罫線の太さ、記号や番号などの違いを用いて読みやすいような工夫がされている。堅牢で耐久性を備えている。表面加工がされており、手になじみやすいつくりとなっている。	「学びナビ」では、単元のキーワードにゴシック体を用いられ一日で重点を捉えることができるような工夫をしている。学年に応じた字詰め・行数を変えたり、文字と図表との空きを十分にとったりするレイアウトにすることで、識別しやすくなるような配慮をしている。	印刷は鮮明で、めくりやすい紙を使用している。図表では、色や構線の使い方を工夫することで、誰もが見やすい資料となるような用紙をしている。3年間の連続性を感じさせる表紙は風合いのある用紙を使用しており、教科書を持つ際に滑りにくく、耐久性を備えている。

※ 着眼点ごとに、特に優れている教科書には評価の欄に○をつけています。

令和7年度使用教科用図書 調査専門委員会 調査研究報告書「各教科固有の追加調査事項」（種目名 国語）

発行 事項	東京書籍		三省堂		教育出版		光村図書	
	評価	特徴	評価	特徴	評価	特徴	評価	特徴
言葉の働きや語彙など、知識及び技能に関する内容が充実しており、系統的に配置されているか		「てびき」に示された「言葉の力」や「広がる言葉」に、身に付けたい汎用的な言語能力のポイントを示している。 「日本語探検」や「情報と論理の学び」で、生活や学習の場面で用いる語彙について例文や具体例を示し、生徒の好奇心に応えつつ、確かな力を身に付けられるように工夫されている。		「読み方を学ぼう」には、読み方の方略が明確に示されており、読み解きに必要な知識・技能が図を用いて簡潔にまとめられている。 各教材の「学びの道しるべ」の終わりにある「語彙を豊かに」で、教材本文に関連した語彙を習得できるようにしたり、「言葉発見」の終わりに「確かめよう」で定着を促したりしている。		「文法の小窓」「言葉の小窓」で言語文化を取り上げたり、「言葉・情報」として、具体的な表現の型を言語活動で取り上げたりしている。 「学びナビ」ページの下（目標の左）にある学びナビマップで学習の現在地を表示し既習事項や今後の学習と合わせて、自分の学びを確認することができるようになっている。	○	全領域に設置した「学びのカギ」で身に付けるべき国語の資質・能力を焦点化して図解し、領域を超えた学びのつながりを明確にしている。 「語彙を豊かに」や「語彙ブック」「書くこと」における「言の葉ポケット」で、たくさんの言葉に出会い、自分の思考や感情を的確に言語化することができるような工夫がされている。
学習過程が明確に示されており、繰り返し言語活動が行えるよう配慮されているか	○	巻頭の「領域別教材一覧」で、身に付ける「言葉の力」を示すことで学習の見通しをもたせるように工夫されている。 3領域とも、学習の見通しと振り返りの過程について、生徒の目線で示している。 「言葉の力」一覧、「学びを支える言葉の力」に、3年間でどんな力をどのように身に付けるのか、言葉の力の系統が一覧でまとめられている。		巻頭の「領域別教材一覧」で、教材ごとに付けたい力が明示され、巻末の「読み方を学ぼう一覧」で、3年間で身に付けるべき文章を読み解く技が示されており、見通しをもって学習ができるように工夫されている。 各教材の「学びの道しるべ」に「語彙を豊かに」を設定し、言語活動の例が示されている。		知識及び技能、思考力・判断力・表現力等を養う教材を偏りなく配列し、「みちしるべ」で定着と育成を図るなど学習活動がバランスよく選択されている。 「みちしるべ」の「自分の考えを伝え合おう」や、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の教材の「学習活動の流れ」で言語活動が明示されている。		巻頭の「学習の見通しをもとう」で教材ごとに身に付けたい力を明示している。 「学びへの扉」で学習活動の流れを示し、段階的に学習を進めることができるように工夫されている。「学びのカギ」「思考のレッスン」「情報整理のレッスン」では、関連ページを索引できるよう示し、必要な情報を得たり次の学びに生かしたりできるような工夫がされている。
文章の種類が調和的に配置され、説明的な文章については適宜、図表や写真等が含まれているか		「読むこと」の領域において、短詩型文学、小説、随筆、説明文、鑑賞文、記録文、古文、漢文など多様な文種を教材の趣旨に応じて偏りなく配置している。 説明的文章は〈構成・展開〉〈吟味・判断〉〈言葉とメディア〉の3系統を網羅し、図表や写真など、文章の理解を助ける資料が内容に合わせた位置に適切に配置されている。	○	「読むこと」の領域において、短詩型文学、小説、説明文、記録文、古文、漢文など多様な文種を教材の趣旨に応じて偏りなく配置している。 説明的文章に、自然科学、環境、平和、共生などの題材を取り上げている。生徒の学習意欲を喚起し、内容の理解を支えられるよう、図表や写真が適所に配置されている。		「読むこと」の領域において、短詩型文学、小説、随筆、説明文、論説文、古文、漢文など多様な文種を教材の趣旨に応じて偏りなく配置している。生徒の興味や関心を高められるように、多様な教材を取り上げ、系統的に単元を構成している。 説明的文章の図表や写真について、生徒の学習意欲を高めるもの、文章の理解を助ける資料性の高いものなど、学習上必要なものが十分に取上げられている。		「読むこと」の領域において、短詩型文学、小説、随筆、説明文、論説文、報告文、古文、漢文など多様な文種を教材の趣旨に応じて偏りなく配置している。多様な解釈を引き出す教材が選択され、幅広い知識と教養を身に付け、探究心を培うことができるような工夫がされている。 説明的文章については、視野を広げ、論理を吟味し、価値を創造できるような教材を取り上げている。また、図や写真等を効果的に活用できるような配慮がされている。

※ 事項ごとに、特に優れている教科書には評価の欄に○をつけています。